

■ 概要

本装置は、受信端末親機(SH210-J/SH200-J)からのデータを受け、任意条件で外部接続点を動作させることが出来ると共に、放送設備に対して音声出力が出来るユニットです。

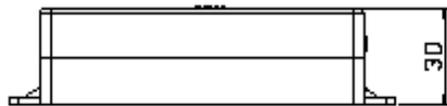
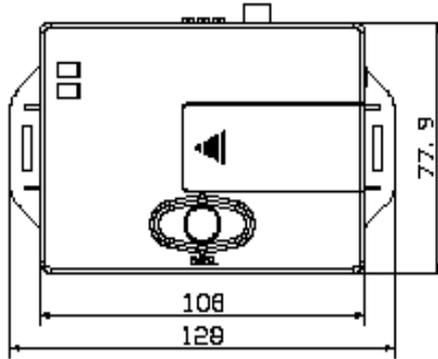
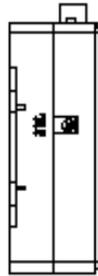
- ・受信端末の発報と同時に出力接続2chと音声出力1chを動作が可能。
- ・発報開始時だけでなく、発報終了時、キャンセル報受信時、いずれにも接続出力をするように設定が可能。
- ・防災音声の発報にも対応し、音声出力と接続出力をするように設定が可能。(※SH210-J接続時のみ)
- ・配信テストにも対応し、音声出力と接続出力をするように設定が可能。
- ・出力接続の動作は、A・B接続の切り替え、パルス・連続出力・音声出力連動の選択が可能。
- ・発報内容をライン出力として音声出力が可能。(音声内容、およびパターンは、SH210-Jに準拠)
- ・音声出力開始ポイントは、接続動作タイミングに対してデレイが可能。
- ・音声出力する表現を、詳細・あいまい1(カウントダウン有)・あいまい2(カウントダウン無) から選択が可能。
- ・音声出力の冒頭に、緊急地震速報利用者協議会が推奨報知音として「特定非営利活動法人リアルタイム地震情報協議会(以下REIC)」が作成した報知音を挿入することが可能。
- ・出力の非常停止が可能。キャンセル報受信時、およびスイッチによる停止時には接続動作をリセットすると共に「緊急地震速報を解除します」と音声出力します。
- ・接続1、2、音声出力について個別の発報レベル設定が可能。
- ・本装置単独および受信端末からのテスト発報が出来、接続機器の動作確認が可能。
- ・本装置の多段接続が5台まで可能。

※ 接続する受信端末がSH210-J以外の場合、複数電文受信時の更新処理違いにより発報途中の更新音声を受信端末本体と本装置出力音声では異なります。

DPASS 拡張ユニット 本体 《 SH210-J-O 》		DPASS 拡張ユニット
名称		SH210-J-O
電源電圧		AC100V (50/60Hz)
定格入力		DC6V-1A (SH210-Jの場合、受信端末付属の専用ACアダプターを使用)
消費電力		待受 0.85W 最大 1W
出力	外部制御出力 (DO 1/2)	2ch 無電圧ループ接続出力 定格 DC35V/100mA (Open: 1,000MΩ以上/Short: 16Ω~35Ω)
	外部音声出力 (AF OUT)	1ch RCA-MONO 0dBu (1Vp.p)/600Ω 不平衡
	電源出力 (POWER OUT)	DC6V (多段接続時の他本装置、及びSH210接続時には受信端末への電源供給用)
	信号出力 (DEBUG)	多段接続時の信号出力
入力	電源 (POWER IN)	DC6V (ACアダプター接続用)
	信号入力 (DATA IN)	受信端末親機の診断用コネクタと接続 (SH200-Jの場合は、RS-232C端子と接続)
	外部接続入力 (DI)	1ch ループ接続入力 (MAX DC3.3V/20mA 以下、動作抵抗値: 100Ω以下。動作解除用)
機能	エリア選択	設置エリア選択 ※SH210-Jとの接続時のみ有効になります
	発報レベル変更	気象庁震度階級 震度 1~7の間で個別設定 ※ 接続出力(DO 1/2)に限りキャンセル報での動作選択も可能
	外部制御出力動作方式選択	A接続/B接続
	動作制御時間選択	300ms/1s/5s/10s/30s/60s/90s/120s/連続/AF連動 選択
	音声出力デレイ時間選択	0/1/2/3/4/5/6/7/8/9 s 選択
	音声出力内容変更機能	詳細 / あいまい1(カウントダウン有) / あいまい2(カウントダウン無) 表現選択 上記各設定に対して発報冒頭に REIC報知音の 挿入 / 未挿入 の選択
	テスト発報	震度レベル3段階 震度 3、5強、7、(各猶予時間固定 20秒) ループ ※各出力の発報レベル設定に準じて発報
表示/操作音	赤LED (POWER)	電源供給状態及び受信端末検出状態の確認
	緑LED (STATUS)	ヘルスチェック(通信状態)及び地震電文受信の確認
	ブザー	スイッチの操作確認音
接続コネクタ	POWER-IN (電源入力)	φ3.5 2極ジャック (DC6V)
	POWER-OUT (電源出力)	φ3.5 2極ジャック (DC6V)
	DATA-IN (信号入力)	φ3.5 4極ジャック (Serial-DATA)
	DI (外部接続 入力)	スクリューレス (ループ接続入力 MAX DC3.3V/20mA 以下 動作解除用)
	DO1 (外部接続 出力1)	スクリューレス (無電圧ループ接続出力 定格 DC35V/100mA)
	DO2 (外部接続 出力2)	スクリューレス (無電圧ループ接続出力 定格 DC35V/100mA)
	AF OUT (外部音声出力)	RCAピンジャック (0dBu (1Vp.p)/600Ω 不平衡)
	DEBUG (多段接続用)	φ3.5 4極ジャック (Serial-DATA)
付属品		・SH210-J-O専用ケーブル (信号受信、(SH210-Jの場合電源供給) L=120cm × 1) ・本体 / ケーブル 固定用タイラップ (L=140mm × 2、L=80mm × 1) ・取扱説明書(保証書含む) / バーコードラベル2枚
オプション (別売り)		・専用ACアダプター (6V-1A) ※多段接続時/SH210-J以外の受信端末接続時に使用 ・SH200-J接続専用ケーブル (φ3.5 4極ジャック/D-SUB 9P) ※SH200-J接続時に使用
温湿度条件		動作時0~40°C 非動作時-10~60°C (10~90%) RH以下 結露なきこと
本体外形寸法		リブ含 W= 128 H= 77.9 D= 30 mm (リブ無 W= 108 H= 77.9 D= 30)
重量		122g (付属品除く)
材質		本体:難燃ABS(UL94V-0)
仕上げ		表面シボ加工 (塗装無)
梱包化粧箱寸法		W= 226 H= 65 D= 152 mm

《 外形寸法図 》

SH210-J-O



参考図

単位	mm
尺度	Free

操作部							
ケース表(側)面	プッシュSW 1	CANCEL (出カリセット (非常停止))					
	プッシュSW 2	TEST (テスト発報)					
上面カバー内	ロータリーSW 1	対応エリア選択 (1~10:area1~areaA) ※SH210-J接続時のみ有効					
	ロータリーSW 2	接点出力 DO1の警報レベル、キャンセル報での動作選択 (0:キャンセルのみ、1~9:震度1~震度7)					
	ロータリーSW 3	接点出力 DO2の警報レベル、キャンセル報での動作選択 (0:キャンセルのみ、1~9:震度1~震度7)					
	ロータリーSW 4	音声出力(AF OUT)の警報レベル選択 (0:震度3、1~9:震度1~震度7)					
	ロータリーSW 5	接点出力 DO1の出力時間の選択 (0~10:300ms/1s/5s/10s/30s/60s/90s/120s/連続/AF連動)					
	ロータリーSW 6	接点出力 DO2の出力時間の選択 (0~10:300ms/1s/5s/10s/30s/60s/90s/120s/連続/AF連動)					
	ロータリーSW 7	音声出力(AF OUT)の開始ポイントのディレイ選択 (0:0s、1~9:1s~9s)					
	ロータリーSW 8	受信端末選択 (0:SH210-J、1:SH200-J、2~8:未使用、9:SH210-J (テスト発報非動作))					
	ディップSW 1	外部接続出力の接点方式選択 (DO1/DO2共通 OFF:A接点 / ON:B接点) 外部音声出力表現選択 (詳細・あいまい1・あいまい2、各REIC報知音有無)					
	ディップSW 2	DIP SW2	詳細	あいまい1	あいまい2	R-詳細	R-あいまい1
ディップSW 3	DIP SW3	OFF	ON	ON	OFF	ON	ON
ディップSW 4	DIP SW4	OFF/ON	OFF	ON	OFF/ON	OFF	ON
(音声内容)		●発報冒頭、および詳細/あいまい1についての音声は、SH210-J内蔵音声に準拠 ●あいまい2 REIC無 (本装置オリジナルパターン) ●あいまい2 REIC有り (本装置オリジナルパターン) ①「地震」・・震度に関係なく地震のみ ①「REIC報知音」 ②「〇〇にきます」・・猶予時間により移行 ②「地震」・・震度に関係なく地震のみ ③「3SOFT報知音」・・受信端末準拠 ③「〇〇にきます」・・猶予時間により移行					
ディップSW 5		訓練報(テスト配信)での動作選択 (DO1/DO2共通 OFF:非動作 / ON:動作)					
ディップSW 6		DO2出力のポイント選択(OFF:発報開始時/ON:発報終了時) ※但し、最大 1secの誤差有					
ディップSW 7		防災音声の連動動作の選択(DO1/DO2共通 OFF:非動作/ON:動作) ※SH210-J接続時のみ有効					
ディップSW 8		モード選択 (OFF:通常/ON:検査) ※必ずOFFで使用のこと					

※ DPASS(ディーパス)とは……

Disaster ProActive Support System の頭文字をとったもので「災害対策支援システム」を意味します。